

Sunshine 第15回 Lessons

Lesson 15-1 : 現在進行形 肯定文

現在進行形とは「勉強している」「食べている」といった、

ある動作が今この瞬間行われているといった「動作が一時的なもの」

を説明する時によく使われます。例えば「私は英語を勉強している」という文章の場合「この瞬間は英語を勉強しているけど、1分後は何をしているか分からない」といったことを表す際によく用いられます（ちなみに、日常的に「英語の勉強をする」という場合は、現在形が用いられます）。

現在進行形の基本的な形は「be 動詞＋一般動詞の原形 ing」となります。大きな特徴は

「be 動詞」と「一般動詞」が同時に登場する

というものです。

【現在進行形の肯定文：基本の形】

am

主語＋ is ＋ 一般動詞の原形 ing ＋～.

are

（「主語」は「一般動詞」しています）

- <例> I am studying English. (私は英語を勉強しています)
He is playing basketball. (彼はバスケをしています)
We are eating breakfast. (私たちは朝食を食べています)

【作り方】

- ステップ 1. 一般動詞の**肯定文**を作る。
ステップ 2. **be 動詞**を一般動詞の前に足す。
ステップ 3. 一般動詞を**原形に戻し**、後ろに **ing** を足す。

<例：私は英語を勉強しています>

ステップ 1. 一般動詞の肯定文を作る。 「私は英語を勉強します」

I study English.

ステップ 2. be 動詞を一般動詞の前に足す。

I am study English.

ステップ3. 一般動詞を原形に戻し、後ろに ing を足す。

I am studying English.

Lesson 15-2 : ing をつける際に注意しないといけない動詞

一般動詞の中には「普通には ing を普通に足せない動詞」や「そもそも進行形にしない動詞」などがあります。

【普通には ing を足せない一般動詞】

	原形	ing 形
パターン1	use (使う)	using (使っている)
パターン2	run (走る)	running (走っている)
パターン3	lie (横になる)	lying (横になっている)

パターン1 = 語尾が e で終わる動詞。 e を消して ing。

<他の例> make (作る) → making (作っている)

パターン2 = 最後が「子音+母音+子音」の動詞は、基本的に最後の子音を重ねて ing。

<他の例> swim (泳ぐ) → swimming (泳いでいる)

パターン3 = 語尾が ie で終わる動詞は、ie → y で ing。

<他の例> die (死ぬ) → *dying (死にかけている)

*進行形は、動詞によっては「何かの動きの途中 (未完了)」を表すことができます。

<例> die = 死ぬ	dying = 死にかけている (だんだん死に近づいていっている)
stop = 止まる	stopping = 止まりかけている (だんだん速度を落としている)
lose = 失う/負ける	losing = 失いつつある (だんだん失っていっている)
	負けつつある (負けそうになっている)
win = 勝つ	winning = 勝ちつつある (勝ちそうになっている)

【基本的に進行形にしない一般動詞】

(1) 「状態」を表す動詞

<例> know (知っている) think ((意見として) 考える / 思う)

(2) 「構成」や「所有」を表す動詞

<例> have (持っている)

(3) 「知覚」や「心の動き」を表す動詞

<例> like (好き) want (ほしい)

*しかし、これらのルールにあてはまらない例外もあります。例えば「(自分の意見として) 思う / 考える」という意味の think は基本的に進行形にしません、be thinking とすると「(今、この瞬間) 考えている / 検討している」という意味になります。

【理解するポイント】

進行形は原則「その瞬間行なわれているもの」を説明する時に使われるため、動作が続くことが前提の動詞は基本的に進行形にならない。

(1) know / think

→「今、この瞬間は知っている (意見がある) けど、次の瞬間忘れてしまう」なんてことは通常ない。

(2) have / own

→「今、この瞬間は持っている (所有している) けど、次の瞬間無くしてしまう」ということは通常ない。

(3) like / want

→「今、この瞬間は好き (ほしい) けど、次の瞬間嫌いになる (ほしくなくなる)」という事は通常ない。

Lesson 15-3 : 様々なフレーズ⑰

1. in the air = 空中に / 空中を

<例> Can you draw it in the air? <それを空中に描いてくれますか>

【補足説明】

air は「空気 / 空中」という意味。目の前にある限定されている「空気 / 空中」なので、the air となり、空中という「空間の中」なので、前置詞は in と考えるとわかりやすい。

また、up in the air には「宙に浮いている」という意味から「検討中で / 未決定で」という意味もある。

2. Why don't we (you) ~? = ~しませんか / ~しましょう / ~するのはどうですか

<例> Why don't we play soccer together? <一緒にサッカーをしましょう>

[補足説明]

Why don't we (you) ~? の直訳は「なぜ~しないのですか」。「何かに誘う時」「何かを提案する時」に使われる。

3. take a bath = お風呂に入る

take a shower = シャワーを浴びる

<例> I take a bath every day. <私は、毎日お風呂に入ります>

He is taking a shower. <彼は、シャワーを浴びています>

[補足説明]

take の代わりに have が使われることもある。

<例> I can't have a bath today. <私は今日お風呂に入ることができません>

4. It is sunny. = (天気は) 晴れです。

<例> It is sunny in Tokyo. <東京は晴れです>

[補足説明]

「天気」「気温」などを言う場合、一般的には主語に it が用いられる。そのため「東京は晴れです」という場合 基本的に Tokyo is sunny. とは言わないので注意。他の天気を表す単語には cloudy (曇った) / windy (風の吹く / 風の強い) などがあり、雨 / 雪を表す場合は rain (雨が降る) / snow (雪が降る) といった動詞を進行形の形にし、It is raining / snowing. (雨が降っています / 雪が降っています) とするのが一般的。

Lesson 15-4 : 現在進行形 否定文

現在進行形の否定文は、基本的に be 動詞の否定文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り、be 動詞の後に not を足してあげれば完成となります。

【現在進行形の否定文：基本の形】

主語 + be 動詞 + not + 一般動詞の原形 ing + ~.

(「主語」は「一般動詞」していません)

<例> I am not watching TV. (私はテレビを見ていません)

He is not (isn't) studying English. (彼は英語の勉強をしていません)

【作り方】

ステップ 1 : 進行形の**肯定文**を作る。

ステップ 2 : be 動詞の後ろに **not** を足す。

(am 以外の be 動詞の場合、be 動詞と not の短縮形を使うことも可)

<例 : 私はテレビを見ていません>

ステップ 1 : 進行形の**肯定文**を作る。 → 「私はテレビを見ています」

I am watching TV.

ステップ 2 : be 動詞の後ろに **not** を足す。

I am not watching TV.

Lesson 15-5 : 現在進行形 疑問文

現在進行形の疑問文も、基本的に be 動詞の疑問文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り、be 動詞を文頭に持ってくれば完成となります。

【現在進行形の疑問文 : 基本の形】

be 動詞 + 主語 + 一般動詞の原形 ing + ~?

(「主語」は「一般動詞」していますか)

<例> Are you watching TV? (あなたはテレビを見ているのですか)

Is she talking *to your mother? (彼女は、あなたの母親と話しているのですか)

*「~と話す」という場合、talk with / talk to という表現が良く使われる。

【作り方】

ステップ 1 : 進行形の**肯定文**を作る。

ステップ 2 : 文の先頭に **be 動詞** を持ってきて、最後を **?** にする。

<例 : あなたはテレビを見ているのですか>

ステップ 1 : 進行形の**肯定文**を作る。 → あなたはテレビを見ています。

You are watching TV.

ステップ 2 : 文の先頭に **be 動詞** を持ってきて、最後を **?** にする。

Are you watching TV?

Lesson 15-6: 様々なフレーズ⑬

1. turn on ○○ = ○○ (電気 / 電化製品の電源) をつける

turn off ○○ = ○○ (電気 / 電化製品の電源) を消す

<例> Can you turn on the *TV? <テレビをつけてくれる>

【補足説明】

turn on ○○/ turn off ○○ の○○は、turn ○○ on / turn ○○ off と turn と on/off の間に入れて使うこともできる。しかし、○○が代名詞の場合は、turn ○○ on / turn ○○ off の形しか使えない。

<例> I cannot turn it on. (I cannot turn on it. = ×) <私はそれをつけられません>

【ポイント】

TV と TV set とは？

set とは日本語でもよく使われる「セット (一式)」という意味です。昔のテレビには、(今と異なり) スクリーンだけでなく、様々な機械がついていたため、それらを含めて TV set と呼んでいたそうです。しかし、今はそれらの部品がなくなり 1 台の機械になったため TV になったという話です。そのため、基本的に TV と TV set は同じものを指します。しかし、現在の場合「スクリーンは TV。TV にリモコンを合わせて TV set」という考え方もあるそうです。

2. clean (up) = 掃除する / きれいにする

<例> I am cleaning my room. <私は、私の部屋を掃除しています>

【補足説明】

よく clean だけでなく、clean up と up が足されることがある。clean と clean up は同じような使われ方がするが、clean は、ただ「きれいにする」という意味なのに対し clean up は「ある程度完全にきれいにする」という意味が含まれたりする。

3. go ○○ing = ○○しに行く (○○には主に一般動詞の原形が入る)

<例> He goes fishing every weekend. <彼は、毎週末魚釣りに行きます>

[補足説明]

一般動詞に ing を足した形は「動名詞」と言われ「○○すること」と主に訳される名詞となる。例えば、eating は「食べること」という名詞、teaching は「教えること」という名詞になる。すでに練習で登場している go shopping / go camping も、shop を「買い物をする」、camp を「野宿をする」という一般動詞。そのため、shopping (買い物すること) / camping (野宿すること) となっている (shop には「お店 (名詞)」という意味もあり、camp 「野営地 (名詞)」という意味もあるので注意)。

4. OK with me = 私としては OK です

<例> A: Can we finish this tomorrow? B: That is OK with me.

<A: 私たちは、これを明日終わらせることはできますか。 B: 私としては OK です>

[補足説明]

「個人的には了承」という意味を表す際に使われるフレーズ。OK の代わりに fine が使われることもよくある。

5. I can't (cannot) wait. = 待ちきれないです。

<例> The show is tomorrow. I can't wait. <ショーは明日です。待ちきれないです>

[補足説明]

楽しみなイベントや出来事がある時に使う表現。口語では I を省略して Can't wait. だけ言われる場合もある。